



図書館の寄贈ありがとう!

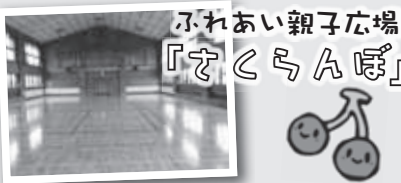
国際ソロプチミスト久慈(小山桂子会長)から児童書27冊、岩手県建築士会久慈支部(生平浩一支部長)から住まいの図書25冊が市立図書館に寄贈されました。寄贈された本は、図書館で展示・貸出しています。



アレン記念館 国登録有形文化財に

7月15日、文部科学省文化審議会は全国204の建造物を登録有形文化財にするよう答申を行いました。これを受け、名誉市民タマシ・アレンさんの住宅だったアレン記念館(本町)が、近く市内初の国登録有形文化財となる見通しです。

INFORMATION



長内公民館 ☎52-7400

長内公民館では、未就学児を持つ親子を対象に、アーナと託児室を無料開放中。安全に楽しくのびのびと、お子さんを遊ばせてみませんか?
■開放時間…毎週金曜日 10時~12時(10月まで)

レクイエム・プロジェクト北いわて 2016

祈りの歌声 響かせて

7月18日、アンバーホールで合唱コンサート「レクイエム・プロジェクト北いわて2016」が行われました。同プロジェクトは、作曲家の上田益さんが主宰し、合唱を通じて被災地をつなぐ市民参加型プロジェクトで、久慈地域では3度目の開催。仙台フィルメンバ―を中心としたオーケストラの伴奏で、実力派の音楽ソリストと地元合唱愛好家、全国各地で同プロジェクトに参加している合唱団の有志ら総勢140人が、860人の聴衆を前に上田さん作曲のレクイエムなど全19曲を歌いあげました。合唱を指揮した上田さんは、コンサートを振り返り「震災から5年、ここまで来れたことに感慨無量。地元の合唱団



ホール中に歌声を響かせる大合唱団

の皆さんが力を出し切り頑張った成果が出たと思えます」と語りました。神戸から訪れ、合唱団に参加した青山真理子さんは「私自身も阪神大震災で被災を経験しましたが、心の奥にあった悩みや思いが歌うことを通して癒されていきました。この歌を通じてたつなかりを大切に、被災地の傷が癒えるまで、今後この地域にエールを送りに訪れたいです」と話しました。

久慈市消防団特別点検

地域防災の要、心意気を示す

6月26日、久慈中学校を主会場に久慈市消防団(廣崎康一団長)が特別点検を実施。総勢約千人の消防団員と婦人消防協力隊員らが、災害時に確な対処をするべく訓練してきた成果を披露しました。服装や機械器具の点検に続いては、規律訓練や消防操法訓練などを実施。市街地に会場を移して行われた分列行進では、市民が見守る中、統制のとれた動きを披露しました。防災ヘリによる救助訓練と全分団が参加する放水訓練で締めくくられた特別点検。講評官を務めた県消防学校の千田利之学校長からは「誠に優秀」の評価が送られました。



統監を務める遠藤謙一市長が視閲を実施



久慈河川敷で行われた放水訓練

消防活動に関わる功績により、次の皆さんが表彰を受けました。(敬称略・氏名の前の数字は分団名)

市長表彰(感謝状)
【一般感謝状】●宇部町第8区町内会●向井兼太郎【内助功労】⑤下平愛子⑤坂下紀子⑦小田カツ⑧越戸貞子⑩三河廣美

県消防協会久慈地区支部長表彰
【優良羊頭級】●第1分団(下嶽春美分団長)●第16分団(蒲野正明分団長)【無火災羊頭級】第13分団(蒲田一法分団長)

【功労章】④谷崎正雄①外館勝夫⑤廣内克利⑦柘山幸彦⑧船渡博⑩羽柴裕二⑰蕪澤公一⑳澤山謙一【功績章】④馬場徳之①松川幹彦②賀美祐助④泉澤賢一⑤岸里信幸⑤久保田孝幸⑥高田頼也⑦柘木孝夫⑧久慈熊太郎⑧本波秀和⑨仲村正和⑩對馬博貴⑬宅石匡省⑰谷地福男⑱大上武⑱下館勝彦⑳夕向正男

日本フィルハーモニー交響楽団 音楽のおくりもの

もぐらんぴあで水族館コンサート



アンバーホールでの公演

日本フィルハーモニー交響楽団では、聴衆からの募金をもとに、ボランティアで被災地に音楽を届ける活動を実施しています。この活動の一環として、同楽団の金管奏者5人からなる「日本フィル金管五重奏団」が久慈を訪れ、2日間わたって公演を行いました。「音楽のおくりもの」と題した公演は、6月17日にはアンバーホールで、翌18日には久慈地下水族科学館もぐらんぴあで開催。もぐらんぴあでは、久慈の海を再現した大型水槽前の特設ステージでジブリやディズニーのメロディーなど子供向けのレパートリーを中心に演奏しました。観客の眼前で演奏する



もぐらんぴあでは大型水槽前で演奏

とあって、金管楽器の迫力ある音や軽快なメロディに引かれ、通りがかる人たちも足を止めて演奏に聞き入りました。自身も吹奏楽をしているという北浦あおいさん(八戸市・白銀小学5年)は「水族館を見に来たら、コンサートをしていてびっくり。音がとてもきれいで凄かったです」と目を輝かせていました。

男女共同参画推進事業「学校講演会」

安田さん母校で講演



進路選択を控えた3年生の生徒たちにエールを送る安田さん

7月8日、男女共同参画事業の一環として久慈高校で同校卒業生の安田玲美さんを講師に学校講演会を開催しました。小学校から高校までを久慈で過ごし、現在は中国での市場調査などを行う(株)日中コミュニケーションシオン代表取締役を務める安田さんは、3年生192人を前に、自身が影響を受けた言葉などを経験交えて語りました。聴講した桑田路子さんは「同じ場所で育った人が世界で活躍していると知り、それらが遠い話ではなく頑張れば近づけるかもしれないと感じました」と話しました。

NEWS

シラカバ資源をPR

白樺の里夏まつりin平庭高原

7月17日、道の駅「白樺の里やまがた」と平庭山荘周辺の2会場で「白樺の里夏まつりin平庭高原(山形町元気づくり協議会など主催)」が初開催。ミニ闘牛大会やスパニッシュギターデュオ「ドンアルマス」のライブ、地場産品を販売する「やまがた市」などの催しが行われました。

平庭山荘では、平庭高原「森の恵み・白樺の一滴」活用推進協議会が開発したシラカバ樹液関連商品を販売。シラカバ樹液入り保湿ジェルクリームを使ったハンドエステ体験やシラカバ材を使った木工体験なども行われ「日本一の白樺美林」である平庭高原のシラカバ資源をPRしました。



シラカバ樹液入りジェルを使ったハンドエステ体験